

シンポジウム

かさいさんまいす

東京湾の再生と葛西三枚洲

ラムサール条約への登録を目指して

葛西三枚洲は、高度経済成長期に埋め立てが進められた東京湾岸において、市民の活動によって残された貴重な自然の干潟と浅海域です。数万羽のスズガモ、数千羽のカンムリカイツブリの越冬地で、シギ・チドリ類の飛来数も多く、国内でも最大級の水鳥の生息地として、国際的に重要な湿地の保全を進めるラムサール条約への登録基準を満たしています。このシンポジウムでは、東京湾と葛西三枚洲の現況、ラムサール条約の内容、葛西三枚洲と同じく干潟・浅海域の登録地からの報告をもらい、参加者とともにこの葛西三枚洲から東京湾全体の再生を目指し、ラムサール条約への登録について考えます。



日時

12/18 日

13:00 - 16:30 (開場 12:30)

会場

法政大学市ヶ谷キャンパス
富士見ゲート棟 4階 -G401

東京都千代田区富士見 2-17-1

(JR総武線、地下鉄各線「市ヶ谷駅」又は「飯田橋駅」より徒歩10分)

参加費：無料 申し込み：不要(直接会場にお越しください)

PROGRAM

基調講演 東京湾の生物と干潟の現状/江戸前の海の豊かさと恵み
風呂田 利夫(東邦大学 名誉教授)

話題提供 ラムサール条約とは
(環境省 野生生物課)

都の海上公園としての葛西海浜公園

樋渡 達也(みどり環境ネットワーク! 理事長)

葛西三枚洲の鳥類とラムサール条約

飯田 陳也(日本野鳥の会東京 幹事)

ラムサール条約登録と荒尾干潟の漁業

矢野 浩治(熊本県荒尾漁業協同組合 代表理事組合長)

ディスカッション

進行: 金井 裕(ラムサール・ネットワーク日本 理事)

総括 笹川 孝一(法政大学 教授)

主催 日本野鳥の会東京、法政大学資格課程
共催 日本国際湿地保全連合、日本自然保護協会、日本野鳥の会、
生態教育センター、ラムサール・ネットワーク日本、WWFジャパン、
リトルターン・プロジェクト
後援 日本湿地学会、日本造園学会生態工学研究推進委員会、
江戸川区、えどがわエコセンター
協力 葛西東渚・鳥類園友の会
問い合わせ 日本野鳥の会東京 E-mail: office@yacho-tokyo.org



※このシンポジウムは、公益財団法人自然保護助成基金第27期(2016年度)プロ・ナトゥーラ・ファンド助成を受けて開催されます。